

大学院特別講義

（医歯学先端研究特論）（生命理工学先端研究特論）

（医歯理工学先端研究特論）

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

演 題：咬合時の下顎位とその記録（第3報）

講 師：福島 俊士 先生（鶴見大学名誉教授）

日 時：平成25年7月18日（木）

17時00分 ～ 18時30分

場 所：特別講堂（歯学事務棟4階）

講演要旨：

昨年度の講義では、咬合採得の基本パターンについて、咬合採得時に咬頭嵌合位が保たれている場合と失われる場合に分けて、欠損歯列に関するアイヒナー分類を咬合採得に応用した分類にしたがって、症例をご紹介した。

今年度の講義では、応用編として下顎頭が変形し、下顎窩内で不安定となっている症例について、症例をご紹介することにしたい。また、こうした症例の咬合採得時に利用される習慣性開閉口運動の特徴について説明することにしたい。

【連絡先】摂食機能保存学分野 三浦宏之（岡田） 内線：5521